

2024 年度 事業報告（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）

1. 法人概要と体制

- ・ 法人名称：一般社団法人公共貨幣フォーラム
- ・ 代表理事（期中）：生島高裕 → 2025 年 4 月より下田直能へ引き継ぎ予定
- ・ 理事：生島、片山、大野、下田、柏木、大原、武井
- ・ 社員数：9 名
- ・ 本店所在地：神奈川県（2024 年に本店移転・登記完了）
- ・ バーチャルオフィス「レゾナンス」契約継続

2. 2024 年度の主要事業・活動実績

分類	内容
✅ 法務・登記関連	司法書士森津周一氏を通じ、継続登記、本店移転、役員登記を完了。必要書類（本人確認証・就任承諾書・印鑑証明・議事録等）を社員より収集し提出。
✅ 組織体制整備	第 2 世代体制の構築に向け、定款の見直し、HP 掲載内容の整理、社員総会等の手続き整備を進行。
✅ 銀行・財務手続き	GMO あおぞらネット銀行を法人口座として採用。山梨中央銀行は解約処理完了。
✅ 会計・決算業務	会費収入・専門家報酬・通信費・地代家賃など収支の整理。決算を作成し、資金管理・監査を整備。
✅ 会員管理	会費徴収を柏木氏主導で実施。納入状況を Excel および通帳記録で管理。新規会員受付および名簿整備を開始。

✓ 勉強会活動	「公共貨幣入門」シリーズ勉強会をオンラインで 12 回開催。輪読形式・動画化も実施。
✓ 出版支援	山口薫・陽恵両氏の英語書籍『Public Money』出版に伴う支援・宣伝準備。HP やクラファン資料等で告知活動。
✓ クラウドファンディング準備	CAMPFIRE 等を想定した企画書作成、目的の定義、対外アプローチ計画を下田氏主導で整備。
✓ Web・情報発信	ドメイン移管・サーバー更新・ML 管理・お問い合わせフォーム整備。大野氏を中心に HP 改訂構想を検討。

3. 課題と展望

- ・事務局機能の分散化と後継者育成（代表理事交代を含む）
- ・会員拡大と資金基盤の確立（会費＋クラウドファンディングの両輪体制）
- ・HP・SNS 等を通じた外部発信力の向上
- ・法改正（議員立法）の提言に向けた社会的連携の強化

4. まとめ

本年度は、法人再始動後初のフル稼働年度であり、組織基盤の再構築と運営体制の刷新を並行して実施する極めて重要な年であった。次年度以降、継続的な対外発信と政策提言力の強化が求められる。社員・理事・関係者の連携と行動力が、公共貨幣の社会的定着に直結する年であると考えられる。